

# 桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃  
令和3年12月24日 冬休み号

## 学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ  
社会に貢献する 生徒を育む』

## 2学期の振り返り

2学期を振り返ると、8,9月は新型コロナウイルス感染症が広がり、秋季新人大会も中止され教育活動が大きく制限されました。10月ぐらいからは新型コロナの新規感染者数が低い水準となり、体育祭、3年修学旅行、1組校外学習、1年フィールドワーク、2年高校授業体験など、学校行事や学年行事も縮小や変更をしながらですが、再開することができました。生徒のみなさんも大活躍しました。

今日現在も新規の感染者数は低い水準のままですが、第6波やオミクロン株など不安なこともあります。でもやるべきことは変わりありません。部活動でも家庭生活でも同じです。冬休み中も★健康観察 ★マスク・ソーシャルディスタンス ★手洗い ★3密(密閉・密集・密接)を避ける。元気に3学期を迎えることができるように、今まで通りの“新しい生活習慣”を続けましょう。

## 人権学習について考える

12月4日から10日まで「人権週間」でした。みなさんも知っている通り、1948年(昭和23年)12月10日に国連総会において「世界人権宣言(基本的人権の尊重の原則を定めたもの)」が採択され、日本でも毎年12月10日を「人権デー」としています。

2015年に国連サミットで「われわれの世界を変革する:持続可能な開発のための“2030アジェンダ(プラン・計画)”」が採択されました。その一部に、みなさんが学んでいる“SDGs(持続可能な開発目標)”があります。この「2030アジェンダ(スローガンは誰ひとり取り残さない)」では、地球規模の国境をまたぐ課題である「気候変動」「感染症」などと各国、地域の共通の課題である「ジェンダー」「格差」などを2030年までに解決する必要があるとし、解決しないと“私たちの地球は持続しない”と全世界に訴えています。その解決には、社会的側面・経済的側面・環境的側面が密接に関連していて、これらを解決するためには、“SDGsの17の目標・169のターゲット”をすべて解決することが必要となります。

今、私たちにできることは何でしょうか。「個人の行動を変えること」と「地球規模の目標を達成すること」と二つありますが、「個人の行動」は、道徳や人権学習、学活、総合的な学習を通して、自分を大切に、仲間や家族を大切にできる資質・能力を身につけることから始めていきましょう。「地球規模の目標」の方は、地域のために環境のために「何ができるか」からはじめて、大きな目標を達成するため、努力を一步一步積み上げていきましょう。少し難しかったかもしれませんが、一度、ゆっくりと考えてみてください。

## ひまわりの会 お花の寄せ植え

12月15日(水)に南浜子育て支援協議会(ひまわりの会)のスタッフと生徒会本部のみなさんにより、「花の寄せ植え」をしました。完成した作品は、幼稚園、小学校、児童館、伏見区役所など、「ひまわりの会」の関係施設に置かれることとなりました。みなさん、ぜひ、見つけてください。本校でも校門近くに置かれています。

※裏面に「桃陵中学校 令和4年1月行事予定」を載せています。

